



川崎市環境総合研究所 共同研究事業成果報告会の開催について

1 趣 旨

川崎市環境総合研究所では、優れた環境技術情報の収集・発信や産学公民連携事業を通じて、地球環境・地域環境改善への取組を推進しております。本報告会では、平成26年度に実施した環境技術に関する共同研究事業（6件）の成果について報告いたします。

2 開催日時 平成27年3月18日（水）14:00～16:00（13時30分開場）

3 開催場所 川崎生命科学・環境研究センター 1階 大会議室

4 主 催 川崎市環境総合研究所

5 プログラム

平成26年度共同研究事業の紹介

(1) エアロゾル複合分析計のフィールド評価

【共同研究者：富士電機株式会社】

PM2.5の成分をリアルタイム測定できる新開発のエアロゾル複合分析計の実用化に向けたフィールド実証を行い、PM2.5の実態解明と将来的な対策について研究しました。

(2) 直流給電方式による省エネ型電源に関する研究

【共同研究者：東京整流器株式会社】

電気の変換ロスが少ない直流給電方式の太陽光発電システムの技術実証を通じて、再生可能エネルギーの利用効率の最大化や災害時の電源供給等について研究しました。

(3) ボトムアップ型まちづくり手法による低炭素商店街の実現手法検討

【共同研究者：学校法人五島育英会 東京都市大学】

川崎市内の商店街を対象にボトムアップ型の低炭素まちづくりの展開スキームや体制について研究しました。

(4) 200℃未満の未利用熱を利用した発電システムの導入可能性調査研究

【共同研究者：アドバンス理工株式会社（旧 アルバック理工株式会社）】

小型・低温度域の発電システムにより、現在有効利用が進んでいない200℃未満の未利用熱の利用促進の可能性について研究しました。

(5) 気候変動適応策等へのフェーズドアレイ気象レーダ活用に向けた研究

【共同研究者：株式会社東芝】

短時間で強雨をもたらす雨雲を検知できる最先端のフェーズドアレイ気象レーダの活用方法や利用効果について研究しました。

(6) 環境情報・写真データを用いたコミュニティ活性化支援に関する共同研究～川崎タイム・マシン～「環境」×「川崎の過去・現在」を対話する

【共同研究者：国際大学グローバル・コミュニケーション・センター（GLOCOM）】

川崎市の過去から現在に至る環境情報や写真を地域のコミュニケーション媒体として活用する手法について実証的に研究し、環境意識の向上やコミュニティ活性化について研究しました。

■会場案内



○会場

川崎生命科学・環境研究センター 1階 大会議室（川崎市川崎区殿町3丁目25番13号）

○最寄りの交通機関

バスでお越しの場合

「川崎駅前（東口）」から臨港バス

20番バスのりばから川02 殿町行き乗車約25分「殿町」下車 徒歩3分

20番バスのりばから快速（急行）浮島橋行き乗車約18分「キングスカイフロント入口」下車徒歩約4分

16番バスのりばから川03 浮島バスターミナル行き乗車約23分「キングスカイフロント入口」下車徒歩約4分

電車でお越しの場合

京浜急行電鉄大師線「小島新田駅」から徒歩15分

■申込方法

下記のいずれかで御申込みください。

① 電子メールによる申込

参加申込書に必要事項を御記入の上、川崎市環境総合研究所都市環境課へ電子メール（30sotosi@city.kawasaki.jp）にて御申込みください。

※電子メールの件名に、「成果報告会の参加申込」と記載してください。

② FAXによる申込

参加申込書に必要事項を御記入の上、FAX（044-288-3156）にて御申込みください。

申込締切 平成27年3月17日（火）必着

◆お問合せ：川崎市環境総合研究所 都市環境課（産学公民連携担当 深堀・中山）
〒210-0821 川崎市川崎区殿町3丁目25番13号
川崎生命科学・環境研究センター3階
電話番号 044-276-8964 FAX番号 044-288-3156
電子メール 30sotosi@city.kawasaki.jp